

# 週間漁海況情報—第36号

平成28年9月13日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。  
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

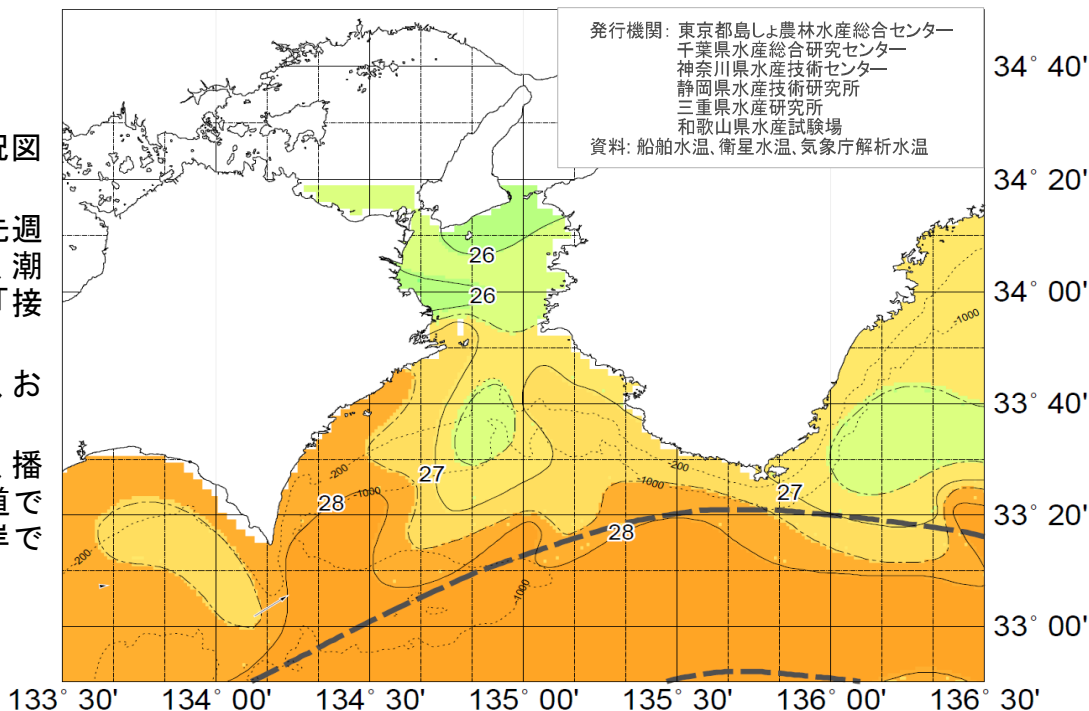
### 1. 周辺海域の水温

右に9月13日時点の海況図を示した。

黒潮は、室戸岬沖では先週から引き続き「やや離岸」、潮岬沖では先週に引き続き「接岸」となっている。

黒潮本流の表面水温は、おおむね28℃台である。

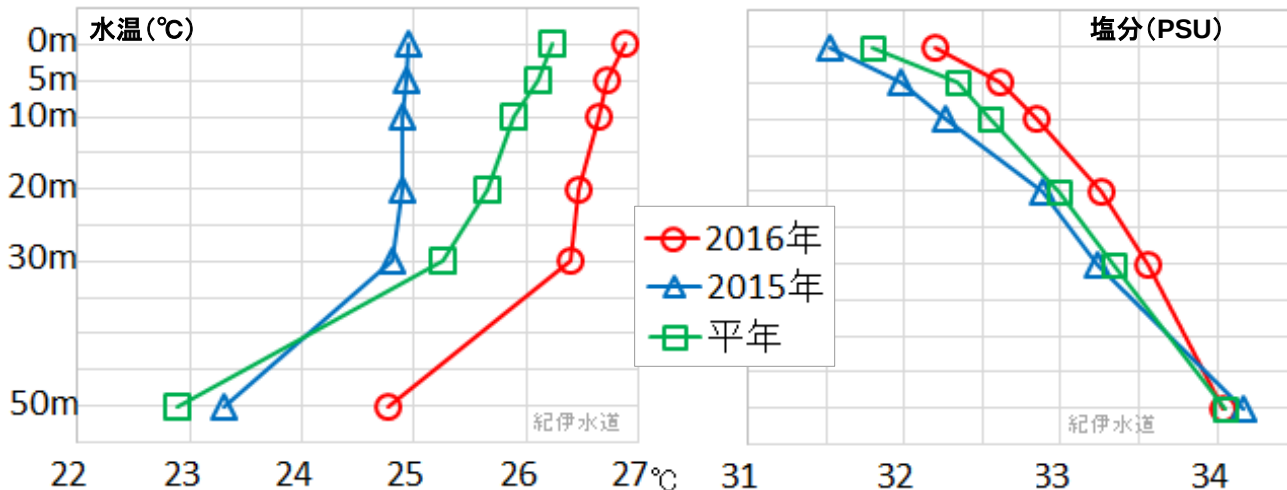
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で26℃台、紀伊水道で25℃～26℃台、海部沿岸で27℃台となっている。



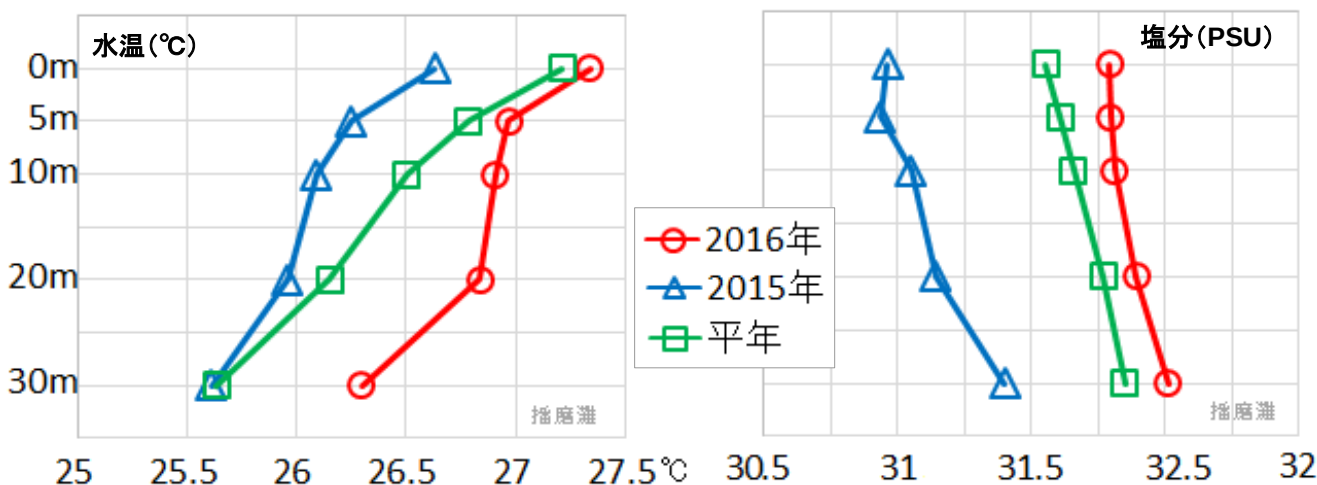
9月1日、2日、および12日に調査船とくしまでおこなった紀伊水道の観測では、水温は全水深で平年より高く、塩分は水深50m層以外で平年よりやや高かった。

9月9日の播磨灘の観測では、水温は表層で平年並み、深いところでやや高め、塩分は全層で平年並みであった。

紀伊水道の観測結果



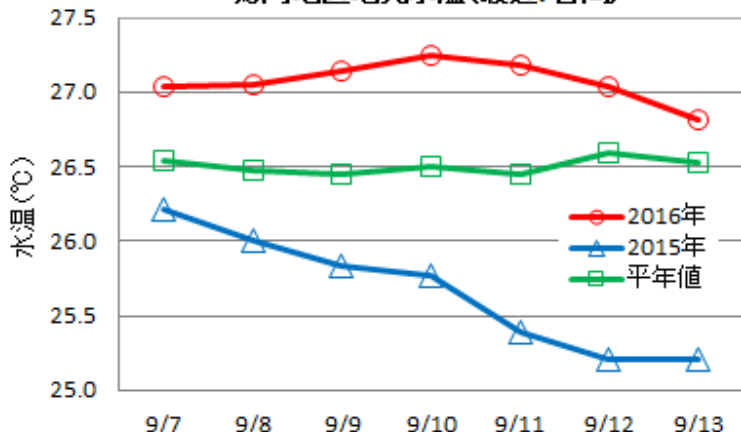
播磨灘の観測結果



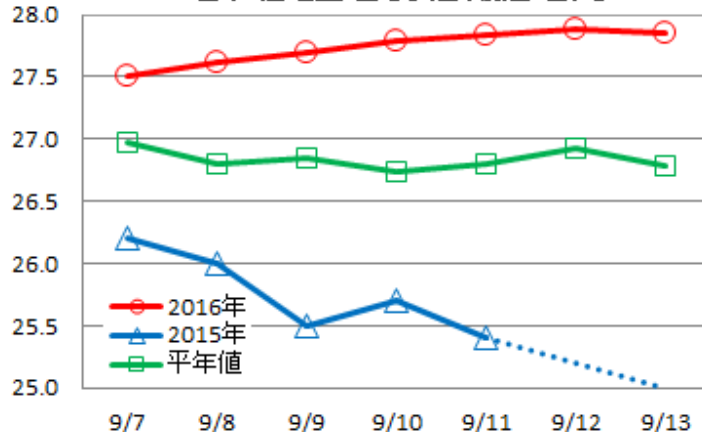
## 2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は期間前半緩やかに上昇したものの後半下がり「平年並み」～「やや高め」の26.8℃～27.2℃、日和佐地区は期間を通じて「やや高め」の緩やかな右肩上がりで27.5℃～27.9℃、牟岐地区は7日27.7℃で平年並みだったほかは「やや高め」の28℃～23.5℃で推移した。

鳴門地区地先水温(最近7日間)



日和佐地区地先水温(最近7日間)



## 3. 週間予報

黒潮は、室戸岬沖は「やや離岸」のうち「接岸」、潮岬は引き続き「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、曇りや雨の日が多いとみられることから水温は横ばいないし右肩下がりで推移するとみられ、鳴門地区は「平年並み」の26℃台、日和佐地区は「平年並」～「やや高め」の27℃台で推移する見込み。

**漁況** 9月5日～9月11日

### 1. 紀伊水道(標本漁協:3)

船びき網の漁獲量が増えた影響で、全体の漁獲量は増えた。

船びき網では、1隻当たりの漁獲量が増え、シラスが増えて39.9ト水揚げされた。

釣りでは、表にはないが、タチウオがやや増えて特大主体に171キ、イサキが大きく減って125キ水揚げされた。

延縄では、サワラが前週に続き大きく増えて2.5ト、ハモも増えて2.3ト、タチウオが1.6ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが再び増えて豆アジ主体に5.6ト、カンパチが0.3ト、丸アジが増えて0.2ト水揚げされた。

底びき網は出漁日数が少なく、ハモが大きく減って2.4ト水揚げされた。

### 2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の漁獲量は、小型定置網の漁獲量が増えた影響で、やや増加した。

釣りでは、イサキが0.2キ水揚げされた。

延縄のアカムツの水揚げはごく少なかった。

表にはないが、小型定置網でマサバが172キ、マアジ(豆アジ)が122キ水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	87	シラス	39,875	458		↗
	延縄	55	サワラ	2,522	46	大主体	↗↗
		20	ハモ	2,301	115	中主体	↗
		39	タチウオ	1,634	42	特大主体	→
	小型定置網	17	マアジ	559	33	小小主体	↗
		14	カンパチ	328	23		→
		14	マルアジ	246	18		↗
底びき網	22	ハモ	2,412	110	中主体	↘↘	
海部沿岸							
	釣り	9	イサキ	222	25		→

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%～200%:↗、80%～120%:→、50%～80%:↘、前週比50%未満:↘↘